

南三陸さんさん商店街の歩み 笑顔がさんさんと輝く場所



▲仮設南三陸さんさん商店街のみんなで記念撮影。

決して笑顔を絶やさず、全国のみなさんに支えられながら町の復興を目指して歩み続けた。

津波ですべてが失われた無残な現実を前に、商店主たちは、当初、店の再建を想像することさえできなかった。しかし、震災直後から開催された南三陸復興市に集まった住民たちや、全国からやって来たボランティアのみなさんのあたたかい励ましに背中を押され、商店主たちは立ち上がった。2012(平成 24) 年 2 月 25 日、仮設「南三陸さんさん商店街」が、吹雪の中、オープンした。

この商店街には 100 万人以上が訪れ、津波被災地で復興をめざす商店街の象徴的存在となってきた。2017(平成 29) 年 3 月 3 日、かさ上げされたかつての志津川地区の中心部に、本設店舗が建築家の隈研吾氏の設計により、落成・開業した。飲食店や鮮魚店など、28 店舗での再出発となった。



▲かつての志津川地区中心部を 10m かさ上げた造成地に

2017(平成 29) 年 3 月 3 日 本設の南三陸さんさん商店街がオープンした。

全国の支援者との交流を大切に育みながら、復興への道のりを歩み続けてきた商店主たち。2017(平成 29) 年には経済産業省「がんばる商店街 30 選」に選出され、2019(平成 31) 年日本ショッピングセンター協会第 8 回 SC 大賞において特別賞を受賞した。

感謝を胸に、心あたたまる商店街を目指し、今も商店主たちの奮闘は続いている。